

## 滋賀県立膳所高等学校 同窓会議事録

令和二年度 同窓会理事会	
日 時	: 令和3年3月27日(土) 13時受付、13時30分開会
場 所	: アヤハレークサイドホテル(大津市におの浜 3・2・25)
出 席 者	: 名
議事録作成者	: 田井直樹(昭和54卒)
受 付	: 事務局
司 会	: 山下総務部 部長

### 会長あいさつ

- ・東京オリンピック聖火リレーがスタートするも、まだまだコロナ禍。生活が一変、多くの社会活動やビジネス・経済などが犠牲になるなど先が見えない混沌とした状態が続いている。こんな時は今までの考え方に固執せず、直面することに素早く柔軟に対応し適応することが必要になると言われる。
- ・甲子園出場、120周年事業は皆さんのお陰で成功裡に終えられた。次の課題は、若い世代(今日は令和卒も出席してくれている)・各学年の同窓生のまとまりを、いかにして全体のまとまりにつなげていくかという事や、母校や在校生の為、会費納入方法の改善に向けて引き続き取り組んでいる。
- ・令和2年度は総会、周年同窓会もすべて中止になったが、令和3年度総会は制限を設けながら実施したい。今日はこうした現状を理事の皆様と共有していただき、総会に向け例年の議題を含めて協議していただきたく協力をお願いしたい。

### 学校長あいさつ(樞原義幸 学校長)

- ・今年度の学校の状況報告：学級減過渡期。生徒減の中、志願者数が多いため学級減は抑えられてきたが、新年度は3年生11クラス、2年生10クラス、1年生9クラス。学園祭、班活動にも影響が出そう。
- ・コロナ対策に留意しながら学校活動を続けている。現段階まで学内での感染者はゼロ。
- ・進学状況：東京2名、京都46名、国公立170名。滋賀医大12名で過去最多。大阪大学が増えた。
- ・インターハイ中止、全国高校総文はウェブ開催。昨日吹奏楽班の定期演奏会。今日も大津歴博で書道班の展示会。スーパーサイエンス・ハイスクール4期目も申請が通り、「重点枠」にも通った。制限のある中でもできる限りのことは工夫して実施している。
- ・コロナで活動が制限されたため、大会補助、派遣補助は不要となったが、施設充実面の補助を手厚くいただけ感謝している。
- ・私事だが、3月で定年退職。

### 顧問紹介

・昭和33年卒 浅田幸作 様 ・昭和36年卒 松村文夫 様

議長選出

同窓会会則第22条により議長は会長指名。大崎会長の指名により、議長を副会長 護法良憲（昭和46年卒）さん。

議題：

1 令和2年度同窓会会務報告・部会報告（山下総務部長）

2 令和2年度会計中間報告（黄瀬誠幸 昭和46年卒）

・会務報告：資料1 ページ参照

・会計中間報告：資料2 ページ～3 ページ参照

・会員数 27323 名、内 15% が会費を納めている。前年比増。

・会費納入増の要因は、卒業後の会費納入方法の変更（大学在学4年間は免除を変更）、及び銀行納入をやめ郵便局、コンビニからの納入を可とした（令2年より）ことによる。

・また5年会費の納入が増えた。例年25%が、今年度37%が5年会費となった。

・（総会費、会議費）総会中止、支出ゼロ。役員会もセミナーハウス利用、支出減。

・（通信費）会費納入方法の変更により、振込用紙の再印刷等に費用がかさんだ。

・（雑給与）事務局員一名減

・（備品・消耗品）コピー機のリース契約切れ、新機種導入。入会記念バッジを5年分まとめて制作してもらった＝バッジのみで48万円)

・（広報発行費）紙のサイズ変更、封筒の材質変更。27,323部作成。

・（学校助成金）学校事務室に一任。年度末に報告を受ける。図書館前コピー機リース、グランド照明、SSH 支援等。

・（班活動奨励金）近畿大会、全国大会出場班に補助。

・（周年同窓会お祝金）開催されなかつたので支出無し。来年度へスライド。

・（課題）IT に対する対応。HP 活用の改善。

・会費会計：資料2 ページの通り。

・特別会計：さざなみ同窓会、卒業生（昭和53卒）より寄付

・質疑：

・Q：昭43卒新川：広報發送費が突出している。会費を未払い者への發送を控えては。

A：今後への提案と云うことで何っておく。27,323部を郵メール（1通68円）で送っている。これを送らないと会費振込用紙が届かないという一面もある。封筒の材質、デザインも変更し目を引くような工夫を続けている。

・Q：平元卒 林：封筒の材質変更は評価する。編集の自身については如何か。

A：甲子園出場時に写真を増やす、カラー化する等の工夫はした。今後も工夫を続けたい。

HP 閲覧者 1日40名程度（最多は、甲子園に合わせ発表日に370名程）こちらの数を増やすことも工夫したい。

- ・拍手にて議案承認

—— 休憩、換気 : 14時30分～14時40分 ——

### 3 令和3年度事業計画(案)(山本 彰 昭53卒)

### 4 令和3年度予算(案)(黄瀬誠幸 昭和46年卒)

- ・事業計画：資料5ページ、別紙事業部よりのお知らせ 参照
- ・予算案：資料6ページ～7ページ参照
- ・(同窓会入会金) 令3年度までは11クラス。それ以降は減ってゆく。
- ・(支出) 令2年度と同等レベルを維持したい。
- ・(周年同窓会お祝金) 令2年度に中止、延期したものが次年度に開催される可能性を鑑み、増額。

- ・質疑：

・Q：昭54卒壇原：コロナ禍を前向きにとらえ、会議をリモート、ウェブ開催、HPを通じて研修、交流もできないか。通信環境整備、設備整備への支出も検討できないか。それにより若年会員の参加の機会を増やすことにならないか。

班活動への補助も、「支給」というよりは、班からのアピール、プレゼンに基づき支給をすれば、同窓会に対する生徒の意識も近くなるか。

A：アナログ世代とデジタル世代をつなぐ努力はしてゆきたい。ご提案ということで伺っておきたい。

・Q：昭45卒山下：予備費が大きいが、今後の推移の見込みはどうか。予定があればよいが、なければ当該年度で活用してはどうか。

A：(会長より) 学校からすれば毎年の班活動への補助は有難いが、同窓会として各班の要求を聞けば金額的には不可能。設備充実、補修面は本来果がすべきだが、同窓会からの補助は大きな助けになっていると聞いている。

予備費については今年は特に、様々な局面、事情があるので、その様子を見ながら柔軟に支出を検討していきける幅を持ってほしい。

Q：昭50卒姜：他の学年の周年同窓会の様子を聞きたい。

周年同窓会時の感染予防策について知りたい。

A：令2年度「延期」は令3年度に実施予定。「中止」は令3にも予定は無い。(会議資料参照) 令3に周年が回ってくる学年も実施予定かと思う。同窓会で調査してHP等で情報共有したい

- ・拍手にて議案承認



## 5. 同窓会費に関する報告

- ・同窓会費納入方法（終身会費導入撤回）について（中山雅文 昭59卒）
- ・資料8 ページ参照
- ・数年前会費収入が頭打ちになり、終身会費（一時金で3万円納入すると終身会員。これは在校生（＝新卒業生にも適応）を提案したが、①近年会費収入に改善がみられたこと、②振込み方法の変更により納入率が改善したこと。③寄付金により増収となった。そのため数年間～10年くらいは財政状況の逼迫は避けられそう。またコロナ禍で会議が持てず各方面との調整が不十分である。そのため、終身会費の案は一旦撤回したい。引き続き会費納入のお願いは続けたい。

### ・質疑

Q：（平卒林）生徒に「同窓会からの支援」ということは伝えられているか。それがしっかり伝えられておれば、卒業後も会費を納めてくれるのではないか。

A：今まではあまり出来ていなかったが、2～3年前からは積極的に進んでおり、その結果として会費納入増につながっているとも受け止めている。

Q：昭43卒新川：会費3000円を2000円にして会費収入減を言うのはどうか。終身会員30,000円は結局親に払わせることになる。

A：そういった声も聞いている。引き続き検討したい。

Q：昭34卒園田：会費徴収を周年同窓会でもっと積極的に進めたい。

A：検討したい。現状65歳以下の会員で会費納入率は2～3%。

同級会の幹事も納めてない方が多いので、幹事もお願いしたい。そして周年同窓会出席者にもお願いしてほしい。

Q：昭40年卒永味：周年同窓会に同窓会役員が来てお願いするのなら良いが、幹事にさせるのはご勘弁願いたい。

A：配慮しながらできる範囲でご協力いただけるとありがたい。

- ・拍手にて報告を承認。総会にて報告を行う。

<その他>

\*令和3年度の同窓会総会 令和3年5月16日（日）

於 膳所高等学校4階大会議室

（感染予防のため、懇親会を行わず、総会と講演会のみ）

\*令和3・4年度同窓会役員選考

4月に役員選考委員会を行い、総会にかけたい。

閉会の言葉：山本勝義副会長（昭48年卒）

15時50分閉会